

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市旭ヶ丘児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 30,419人(前年度比 108.0%) 令和5年度 28,165人 令和4年度 23,713人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 56,456千円 (55,466千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
令和6年度は、地域により必要とされる児童館を目指し、地域諸団体等との繋がりを大切に事業の充実に努めた。 (児童健全育成事業) 小学生を対象にした「チャレンジ隊」などの行事を土曜日に移し、より自由来館児童が参加しやすいように工夫した。また、設立3年目となる「ジュニアボランティア(アサヒガオカナイン)」も登録8名(小学生6名、中学生2名)となり、毎月2回(主に土曜日)に活動が続いている。 (子育て家庭支援事業) 年齢別や異年齢の通常行事に加え、親子で楽しむ「ベビーマッサージ」や「リトミック」、保護者を対象とした「ホッとひといきタイム」や「食育セミナー」、土曜日には大型遊具で遊べる「ちびっこファミリーデー」などを実施した。その他、乳幼児親子を対象にした大きなイベントである「ちびっこまつり」を行い、充実したプログラム運営を目指した。 (地域交流推進事業) 児童館まつりを行った他、旭ヶ丘まつりや旭ヶ丘市民センターまつりにも参加し、地域交流活動の一端を担うことができた。同月に開催した「ハロウィン仮装パレード」では、地域の皆様にもご協力いただきながら、実施することができた。12月には地域の皆様をお招きし、「クリスマスコンサート」を行った。また、定例行事として、「健脳健骨運動」を実施し、地域の皆様に児童館を利用していただく機会を作ることができた。 (放課後児童健全育成事業) 児童クラブは、本館に1～3年生、サテライトに4～6年生に分かれ運営した。サテライトについては、対象が高学年ということもあり、こどもたちからの意見を取り入れつつ、児童がより安全にかつ快適に過ごせるよう運営を行った。また、夏と冬には宿泊を伴うキャンプを実施した。発表の場である「あさひがおかチャンネル」は、過去最多の出場者を記録し、児童の主体的な活動の場となっている。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、参加しやすさや、ゆったりとした雰囲気の中で行事を行うために「チャレンジ隊」や「ジュニアボランティア」などの行事を土曜日に変更して実施し、好評である。「ジュニアボランティア」は前年度よりも参加者が増え、地域のまつりで乳幼児親子を対象にした工作コーナーや遊びのコーナーを企画して運営するなど、異年齢による活動を通して社会性や主体性を育んでいる。また、「旭ヶ丘チャレンジ隊」を定期的の実施し、昔遊びや工作など様々な遊びを通して、こども達の興味関心を広げながら自信や自己肯定感を得る機会となった。 子育て家庭支援事業においては、親子で体操や運動遊びを楽しむ「のびのび広場」や工作を行う「わいわい広場」を定期的に開催した。保護者同士が子育ての情報交換や仲間作りをする場になっており、リピーターも多い。また、ハーバリウムやキャンドルホルダーなど保護者向けの工作を楽しむ「ホッとひといきタイム」や「ホッとカフェ」は、保護者がリフレッシュしながら交流し、子育てについてみんなで考える機会になっている。 地域交流推進事業においては、近隣の児童館と共催して「AKOチャンピオン決定戦」を開催し、学区を超えた交流の場となっている。また、地域のまつりや市民センターまつりに児童館として参加し、こども達がコーナーの企画から運営まで関わるなど、地域との交流を広げ、こどもの意欲や自主性を育んでいる。 放課後児童健全育成事業においては、こどもが安心して過ごせる生活の場になるよう環境を整え、発達段階に応じた過ごし方ができるように工夫している。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課